

市役所等公共施設整備基本計画説明会 開催結果

日時	平成28年11月27日（日）午後2時から午後4時まで	
場所	西庁舎3階公民館 研修室	
参加者	一般参加	21人（内市議会議員2人、市職員5人）
	検討委員	8人（経営企画課森補佐、行政課粕谷補佐、財政課嵯峨補佐、安心安全課栗寄防災官、生涯学習課若杉補佐、区画整理課山本補佐、教育総務課水野補佐、議会事務局貝沼補佐）
	事務局	3人（青山総務部次長兼財政課長、水草同課長補佐兼管財係長、青山同係主事）
	受託業者	2人（株国際開発コンサルタント大森氏、森下氏）
	報道関係	1人（株建通新聞社）

【進行】

- 14:00～ あいさつ（総務部次長兼財政課長）
- 14:05～ 概要説明（財政課長補佐兼管財係長）  
    パワーポイントを使用し説明
- 14:25～ 休憩（5分間）
- 14:30～ グループワーク（国際開発コンサルタント進行）  
    グループに分かれ、現庁舎の問題点・新しい庁舎に望むことについて意見交換
- 15:30～ グループワーク結果発表
- 15:55～ 総括・お礼
- 16:00  解散・アンケート回収

【主な意見（グループワーク発表内容）】

- ◎防災拠点としての整備を充実させるため、庁舎の建替えは必要である（全グループ）。
- ◎利便性や人口分布を考えると、現在の敷地内に庁舎を建てることに拘るよりも、グリーンロード・リニモ沿線上での設置が望ましい（全グループ）。
- ◎高齢者や子育て世代に配慮し、高層よりも移動に便利な低層で横に広い庁舎とすることで、1フロアで窓口業務が行えるような庁舎であるとよい。
- ◎若いまちならではの、子育て世代に配慮した待合スペースやキッズコーナーなどが充実した庁舎であってほしい。

- ◎駐車場や通路など、全体的に余裕のあるスペースを確保してほしい。
- ◎緑のある、環境に配慮した庁舎を望む。

#### 【その他意見（グループワーク発表内容）】

##### （防災に関すること）

- 東日本大震災や熊本地震の状況からも防災拠点としての整備は重要である。
- 防災拠点の整備の点から災害時の迅速な業務復旧、情報収集・発信、非常電源の確保、ヘリポートの設置等について検討するとよい。
- 災害対策本部は、市長室のすぐ近くに設置したほうがよい。
- 十分な避難スペースを確保したい。平時は、市民の憩いのスペースとして活用できるとよい。

##### （行政サービスに関すること）

- 現庁舎では案内表示や総合案内も小さく分かりづらいため、新庁舎では改善してほしい。
- 窓口課の配置について、関連部署を近くに置き、移動を少なくできるとよい。
- プライバシーに配慮し、個別の相談室を充実させてほしい。
- 案内や施設予約について、デジタル化も進めていけば、利便性向上に繋がる。
- ワンストップサービスを採用できるとよい。
- 1つの拠点に構えるのではなく、行政機能と市民サービスを分断して、後者を市民の近くに置くなどといった分散化も検討してみてもどうか。

##### （利用に関すること）

- 駐車場から庁舎へ移動する際、できるだけ雨に濡れないようにしてほしい。
- エレベーターや通路も、もっと広いとよい。
- 普段使用しない議場を市民や事業者が多目的に使用できるとよい。
- ATMやコンビニなどの施設も充実させてほしい。

##### （環境に関すること）

- 冷暖房設備をできるだけ使用しない、エコな庁舎がいい。
- 維持費ができるだけかからない庁舎がいい。
- 人口減少が進んだ数十年先に負の遺産となってしまうような、過度に豪華な庁舎を作る必要はない。

(庁舎の位置に関すること)

- 歴史的には現敷地（岩作）にあるが、岩作に拘る必要性を全く感じない。
- 昔は中心地だったかもしれないが、今は街の人口の中心からは外れている。
- 現敷地では、公共交通機関でのアクセスも悪く、道路も狭いため混雑する。
- 現敷地に認知度があるからと言うが、それは結果論であり、他の場所に移転したとしても後から自然と上がってくるはずなので、移転しても問題ない。

(長久手らしさに関すること)

- 長久手らしさを出すために、愛・地球博の理念を踏まえた自然や緑を活かした庁舎であるとよい。
- 友好都市である南木曾町の木を使用してはどうか。

(高齢化・人口減少化に関すること)

- 高齢化・人口減少化が進み、税収が減ったとき、行政組織も変わってくると思うので、その点にも十分配慮した規模を想定し、柔軟性のある庁舎建設を検討してほしい。

(その他)

- 自治会加入率が減少しているため、市からの情報発信をもっと効果的にできるとよい。
- 高齢者に居場所のあるまちにしてほしい。
- 全て鉄筋コンクリートではなく部分的にでも木材を活用したほうが、組織が縮小化したときにも柔軟な改修がしやすいのではないか。

(以下余白)